

奈良の観光業の活性化

3年1組9番 垣見 唯乃

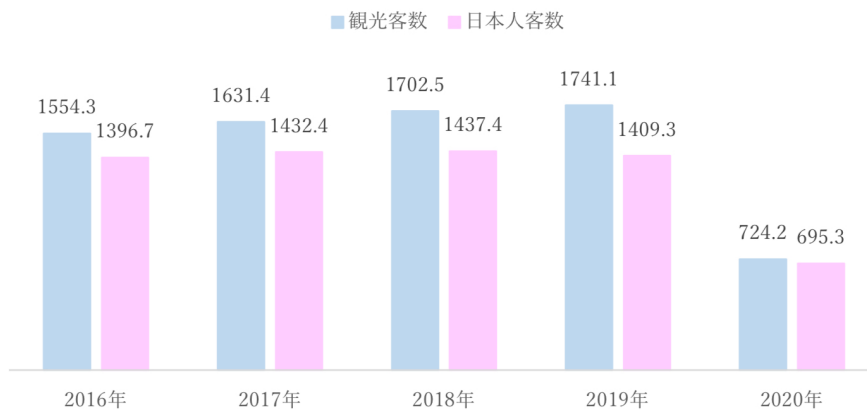
現代社会では新型コロナウイルスの影響により観光業は大きく打撃を受けている。そこで、コロナ以前の活性化のあった観光業に戻すためにいま何が必要なのか。

私が観光業について探究している理由は新型コロナウイルス感染症の影響で一番打撃を受けた企業は観光業だと思ったからだ。しかし、世界、日本の観光業に焦点をおくとテーマが大きくなってしまったため、探求しやすく、また身近に考えやすい奈良に焦点を置くことにしてみた。そして、コロナウイルスが終息に近づいている今、私達はコロナと共にどのように観光業を活性化していくべきなのかと考えこのテーマを選択した。

現代社会の観光業の課題はなにがあるのか。現在の奈良県の観光客数は、コロナ以前の2019年までは増加傾向にあった。その主な原因として訪日外国人の増加であり、日本人観光客数は2018年の1437.4万人が高止まりの傾向にあった。そして、新型コロナウイルスが蔓延した2020年からは観光客は前年度の約半分以上となった。

【奈良市観光入込客数推移】

単位：万人



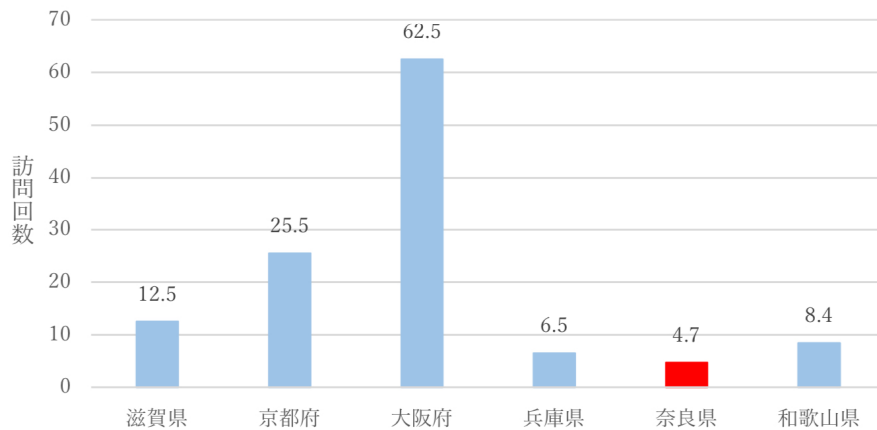
出典：奈良市観光入込客数調査報告書

また、新型コロナウイルス感染症拡大にかかる政府の緊急事態宣言の発出により、奈良県の観光施設の休業、イベント行事の中止等の影響を受けて大きく落ち込んだ。コロナ以前から奈良県は観光業のいくつかの大きな課題を抱えている。

一つ目は滞在時間の延長についてだ。府県別滞在時間によると奈良県は近畿内で滞在時間が4.7時間と他の府県に比べて1番短いことがわかった。一方、隣の大阪や京都は近畿内でも1、2番目に滞在時間が長い。

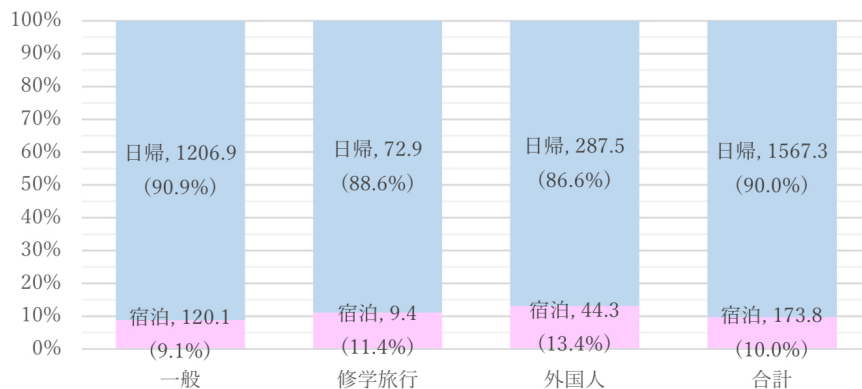
【府県別滞在時間】

単位:時間



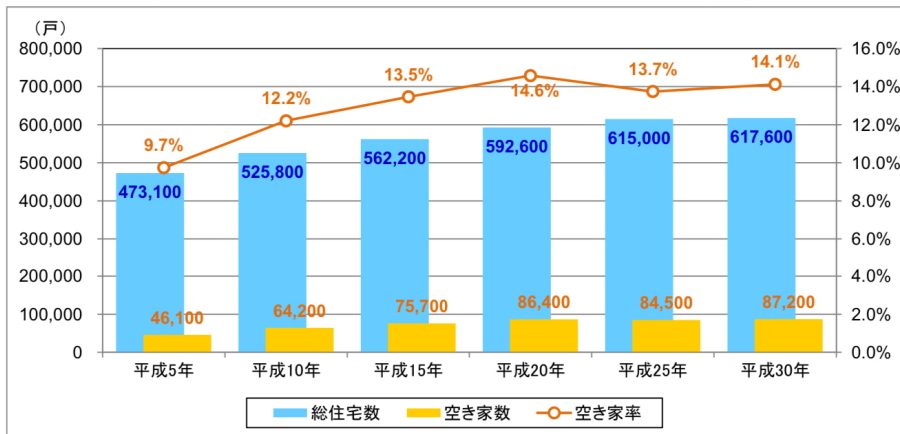
二つ目は、宿泊客数の増加についてだ。奈良に繋がる観光コンテンツ造成により、宿泊者数の増加させる必要がある。2019年奈良市観光客内訳からみて宿泊10%以下という低い結果ということがわかった。一つ目と二つ目の課題から観光客は昼は奈良で観光して夜は大阪や京都に宿泊することが多いと分かった。

【2019年奈良市観光客内訳（宿泊・日帰）】 単位:万人



この三つの課題から観光客が奈良に来たくくなるような観光スポットやイベントを増やす必要があると考えた。奈良は、日本の古き良き町並みを味わうことができるのが最大の特徴だ。それを一番感じられるのはならまちだと考えた。ならまちとは、奈良県にある世界遺産「元興寺」の旧境内を中心とする地域で、平城京の「外京」にあたる場所に「ならまち」はあり、江戸末期から明治時代にかけての町家の面影を残し、訪れる人にどこか懐かしさを感じさせてくれる趣ある街である。ならまちを散策してみると町家の風情が残る街並みで奈良でしか感じることでできない雰囲気であった。ならまちには、古民家をリノベーションしたカフェなどが多かった。そこで、私は古民家をリノベーションしたカフェを増やすべきだと考えた。現在、日本では空き家が増え続けている。

【グラフ4 奈良県の総住宅数、空き家数及び空き家率の推移】



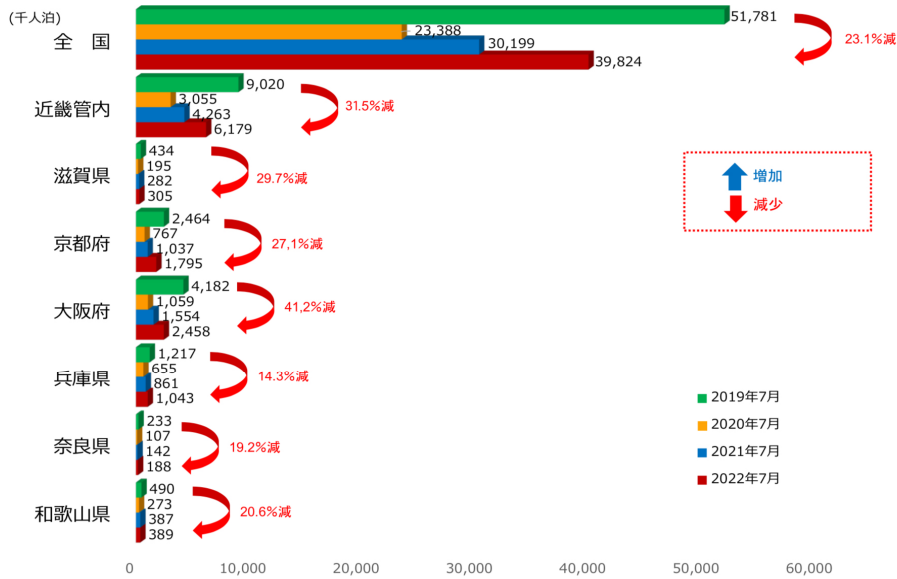
出典：平成5年 「住宅統計調査結果」(総務庁統計局)

平成10年～平成30年 「住宅・土地統計調査」(総務庁・総務省統計局)

これらの原因として高齢化社会が進む日本全体の問題で、団塊世代の相続が進み、空き家が急速に増加している。また、空き家所有者自身が空き家の管理や活用について問題を抱えている。そして、奈良市では人口が減少し、高齢化が進行していることから、今後、更に空き家が増加していくことが想定されている。この空き家の問題を解消しつつ、奈良県に観光客をより呼び込むために古民家をリノベーションしたカフェは最適だと考えた。私が考えるリノベーションしたカフェは、古くからあるならまちの街並みを生かした外観で奈良には建物が低く自然をより味わえるところが特徴なので内装は大きい窓から自然が見える作りになっている。古民家なのでリラックスすることができどの世代でも利用することができる。

今、日本の課題の一つとなっている空き家問題を古民家をリノベーションしてカフェにすることにより観光客を更に呼び込むことができる解決策だと考えた。今回はカフェを考えたが、奈良にはまだまだ魅力がたくさんある。奈良により観光客を呼び込むためにはカフェ以外にも考える必要があると考えた。しかし、これらの案ではまだ宿泊時間増加に繋がっていない。そこで更に奈良県は交通の便が悪いという課題が上がってくる。隣の大阪や京都は交通の便もよく、観光スポットや宿泊施設が充実している。また、京都は奈良と同じく古くからある日本の歴史、文化などを大切にしている。奈良は京都と違った魅力を広める必要がある。他にも、まだ新型コロナウイルスは終息していないため、蔓延前に比べるとまだまだ打撃は受けている。新型コロナウイルスが終息次第、外国人の観光客はコロナウイルス蔓延前よりたくさん増えるだろう。これ以上に課題はまだたくさん残っていることが分かった。

➤ コロナ禍の影響を対比するため、4カ年(2019年~2022年)を対象とした。



出典:観光庁「宿泊旅行統計調査報告」より近畿運輸局が作成 ※延べ宿泊者数は2019年からの4ヶ年分を掲載し、増減の割合は直近分を2019年比のみ掲載しています。

私は最初、旅行が好きだったので観光をテーマにしたが、今回考えた案でSDGS解決にも繋がることがわかった。私は将来、建築系に携わる仕事がしたいので今回考えた案を自分の将来に活かしていこうとおもった。

参考文献・出典

2020年 奈良市観光の現状と課題「奈良市観光入込客数調査報告書」<https://www.city.nara.lg.jp/uploaded/attachment/134529.pdf> (2022. 9. 26)

2022. 03. 26 風情ある町並み「ならまち」のおすすめ観光スポット10選! カフェや雑貨店など<2022・奈良> 鳥井 晴風<https://www.jalan.net/news/article/629162/> (2022. 9. 28)

2018 空き家の現状 「平成5年 「住宅統計調査結果」 (総務庁統計局)
平成10年~平成30年 「住宅・土地統計調査」 (総務庁・総務省統計局)」
<https://www.city.nara.lg.jp/uploaded/attachment/122669.pdf> (2022. 9. 26)

2022. 7 近畿運輸局管内 延べ宿泊者数のコロナ禍の影響観光庁「宿泊旅行統計調査報告」
<https://www.tb.mlit.go.jp/kinki/content/000274763.pdf> (2022. 9. 28)

